

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第90号 2018年2月6日

写真

みんなで楽しく

三和・菊野ほほえみサロン
(表紙説明は4ページ)



- p2 和寒町議会議長年頭あいさつ
- p3 こんなことが決まりました 冬の生活応援
- p6 町政を問う。一般質問に4議員が登壇
- p11 決算審査特別委員会 よりよいまちづくり
- p14 各委員会所管事務調査報告
- p16 町民インタビュー聞かせて 愛吟会

新春を迎えて

和寒町議会議員 塚崎 正

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

町民の皆様におかれましては、平成三十年の新春を、ご家族お揃いでお迎えできましたことに、心からお喜びを申し上げます。

また、日頃から議員活動にご理解とご協力をいただき、議員一同、深く感謝を致しております。

さて、平成二十九年を振り返りますと、水害により多くの被害を受けた平成二十八年度を踏まえ、町道や河川の改修のほか、消防設備や水害対策用ポンプの整備など防災に向けた事業が進められてきました。

基幹産業の農業においては、概ね平年並みの作柄に恵まれ、豊穡の秋を迎えられたことに安堵しているところではございますが、秋まき小麦については多くの圃場で雪腐

病が発生し、その影響により大幅な収量減につながってしまったことから、今期については実り豊かな収穫となりますことを願うところであります。

また、昨年は東丘浄水場、高齢者向け公営住宅の整備のほか保育所わんぱく広場の整備が実施されたように、引き続き町民の皆様に住んで良かったと思っていただけのようなまちづくりを進めていかなければならないと感じているところでございます。

欧州のEPA、TPP11を巡る情勢やJR線路存続の問題など、目まぐるしく変化する世の中で予断を許さない状況にあります。今後、少子高齢化や福祉、教育、産業の振興、生活環境整備の推進などに議員一丸となつて努めてまいります。

最後になりましたが、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新春のご挨拶と致します。

本年もよろしくお願い申し上げます



議長 塚崎 正
副議長 佐々木 広行

総務福祉常任委員会

委員長 中原 浩一
副委員長 窪田 裕二
委員 佐々木 広行
委員 酒向 勤
委員 下條 美恵

産業教育常任委員会

委員長 石田 利美
副委員長 伊藤 明
委員 佐々木 広行
委員 金谷 浩幸
委員 谷口 勝弘

議会運営委員会

委員長 酒向 勤
副委員長 金谷 浩幸
委員 佐々木 広行
委員 中原 浩一
委員 石田 利美

議会広報委員会

委員長 谷口 弘
副委員長 下條 美恵
委員 酒向 勤
委員 伊藤 明
委員 窪田 裕二

議会選出監査委員

金谷 浩幸

冬の生活応援 商品券に ～燃料費以外でも利用可～



12月定例議会のあらまし

12月定例議会（第4回定例会）は、平成29年12月21日から22日にかけて開催されました。

21日は、町長の行政報告のあと、一般質問を行い4人の議員が登壇したあと、高齢者福祉施設指定管理者調査特別委員会の報告をしました。

22日は条例改正や補正予算等の議案審議の他、平成28年度決算の審査報告なども行なわれました。また、意見書5本を可決し閉会しました。なお、今定例会の傍聴者は延22名でした。

補正予算

各会計の主な増減は下記の表のとおりです。

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

冬の生活応援助成金は非課税世帯に対する暖房用燃料費や衣料等の購入経費の一部を補助するとして増額補正。
マイホーム応援事業補助、危険家屋等解体支援事業補助は申請件数の増による増額補正を可決しました。

【国民健康保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

人件費の整理による増額補正を可決しました。

【簡易水道事業特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

人件費の整理による増額や消費税還付などによる減額補正を可決しました。

【公共下水道事業特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

人件費の整理による増額や各種委託料・工事費の執行残整理による減額補正を可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

人件費の整理及び介護保険システム改修業務委託などに伴う補正を可決しました。

一般会計の主な補正内容

（※1万円未満切捨て表記）

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	45億8388万円	△2891万円	45億5497万円
主な増減内容 （※抜粋掲載のため、各事業補正額と補正額の合計は合致しません。）	○南宗谷線地区米穀類乾燥調製貯蔵施設基金積立金……………100万円 ○マイホーム応援事業補助……………681万円 ○危険家屋等解体支援事業補助……………200万円 ○障がい者自立支援給付支払等システム改修業務委託……………129万円 ○冬の生活応援助成金……………400万円 ○町道バリアフリー化工事……………△905万円		

芳生苑・健楽苑

公募で指定管理者決定

指定管理者の指定

【公の施設の指定管理者の指定について】

（全員賛成可決）

下記の施設の指定管理者の指定を可決しました。特別委員会の報告は14ページをご覧ください。



▶ 芳生苑

名 称	①和寒町特別養護老人ホーム芳生苑 ②和寒町短期入所サービスセンター芳生苑 ③和寒町老人デイサービスセンター健楽苑
指定管理者	社会福祉法人和寒町社会福祉協議会 会長 瓜 るみ子
指定の期間	平成30年4月1日から 平成35年3月31日まで

条例など

【議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

【特別職職員の給与に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

【職員の給与に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

人事院勧告に伴い、手当等の引き上げに関する改正を可決しました。

審査報告

下條美恵決算審査特別委員長から委員会審査の報告がなされ、採決の結果、一般会計、5特別会計、病院事業会計がそれぞれ賛成多数で認定されました。

決算審査特別委員会の内容は、12、13ページの「決算審査Q&A」をご覧ください。

表紙の写真

「健康の秘訣は笑顔」

毎月、10日と20日、三和寿学園の活動後、午後から「ほほえみサロン」がオープンします。

この日は、クリスマスツリーで飾りつけられ、沢山の折鶴が止まっていて素敵でした。

ランチはお弁当と手作りの具沢山の豚汁などを美味しくいただきました。

お腹一杯になった後の体操では、「はあ〜」とため息が漏れる場面でもみなさん大笑い!!
笑うことが一番の健康の秘訣ですね。



発行90号に感謝

議会広報「ワットサム」は今回の発行で第90号になりました。これも読者の皆様のおかげと感謝いたします。

平成7年11月号の創刊から足掛け24年。この間に、先輩方の努力を怠らない熱心な編集活動により、平成24年には第32回北海道町村議会広報コンクール入選という栄誉につきました。次は100号に向けて内容の充実を図りますのでこれからより一層よろしくお願いいたします。



みんなの声を国政に

公益に関わる次の5件について、議員から意見書案が提出されました。
第4回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁などに提出されました。

29年度以降「産地交付金」の満額交付などを求める要望意見書

提出者：金谷 浩幸 賛成者：中原 浩一、伊藤 明 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣
(要旨)

2年連続の「産地交付金」の支払減額を回避するため、支払保留されている2割部分については29年度補正予算措置等により満額交付を行うと共に、次年度以降は「戦略作物助成」とは別枠で予算を十分確保するなど強く要望する。(全2項目)

軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

提出者：石田 利美 賛成者：佐々木広行、伊藤 明、谷口 勝弘 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣
国土交通大臣
(要旨)

国においては、索道事業者、農林水産事業者、鉱物探掘事業者など幅広い産業への経営が圧迫され、地域経済を支えている産業の衰退を招くことのないよう、軽油引取税の課税免除措置を今後も継続するよう強く要望する。

適正な地方財政計画の策定を求める意見書

提出者：伊藤 明 賛成者：中原 浩一、金谷 浩幸 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣
(要旨)

地方自治体の基金は、2004年度の地方交付税・臨時財政対策債の一般財源の大幅削減による自治体財政危機、自治体にかかわる国の突然な政策変更、リーマンショックなどの経済環境変動下でも、災害の復旧・復興や住民の福祉向上のために必要な事業に対応できるよう、財政支出の削減等に努めながら積み立てたものであり、これを地方財政計画へ反映しないことを要望する。(全7項目)

道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出者：伊藤 明 賛成者：中原 浩一、金谷浩幸 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：北海道知事、北海道教育委員会教育長、北海道議会議長
(要旨)

広大な北海道の実情にそぐわない「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直し、中学卒業生数の減少期だからこそ、学級定数の見直しを行うなど、地域に高校を存続させ、希望するすべての子どもにゆたかな後期中等教育を保障していくべきであることから意見する。(全4項目)

道教職員の長時間労働是正を求める意見書

提出者：中原 浩一 賛成者：金谷 浩幸、伊藤 明、谷口 勝弘 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：北海道知事、北海道教育委員会教育長、北海道議会議長
(要旨)

現在、長時間労働が社会問題化し「働き方改革」が求められている中で、教職員についても、実効性ある超過勤務削減策が急務となっていることから、意見する。(全3項目)

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。

※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質 問 事 項	ページ数
谷口 勝弘議員	①コミュニティ・スクールの意義は	7ページ
窪田 裕二議員	①コミュニティ・スクール実施に向けての和寒町の考えは ②2期目に向けての選挙公約は	8ページ
佐々木広行議員	①パークゴルフ場の増設は ②平成30年度予算編成とこれからの本町のあり方は	9ページ
石田 利美議員	①これからの農業施策は ②奥山町長が考える観光地づくりは ③町民センターの分煙室の今後は	10ページ

谷口勝弘議員



問 コミュニティ・スクールの意義は

答 学校・家庭・地域・行政が
当事者意識を持つこと

導入に当たり
その負担に伴う意義は

コミュニティ・スクールは、
教育委員会、学校、保護者そ
して、多くの地域の方々との
熟議が必要となり、それぞれ
の負担になる。
その意義をどのように考え
ているのか。

奥山町長

コミュニティ・スクールは、
学校、家庭、地域、行政の4
者が知恵を出し合い、学校運
営に意見を反映させることで、
協働しながら子供たちの豊か
な成長を支える仕組みである。
これを、導入した先進的な
学校では、いじめや不登校な
どに対する生徒指導上の成果
などがあげられており、学校
運営の更なる充実に大いに期
待できる。

沓澤教育長

これまでも、地域に開かれ
た学校づくりを目指してきて
いるが、小学校1校、中学校
1校となった今、教職員の異
動や子供の減少、地域の世代

替わりに左右されずに充実し
た学校運営を進めていく必要
がある。

そのためには、4者がビ
ジョンを共有した活動をする
ことが重要で、そのことが地
域の創意工夫を活かした特色
ある学校を作ると共に、地域
全体の活性化に結びつくと思
えている。

○再質問

「和寒町が目指す子供像」
はコミュニティ・スクールの
中でどう作られていくのか。

沓澤教育長

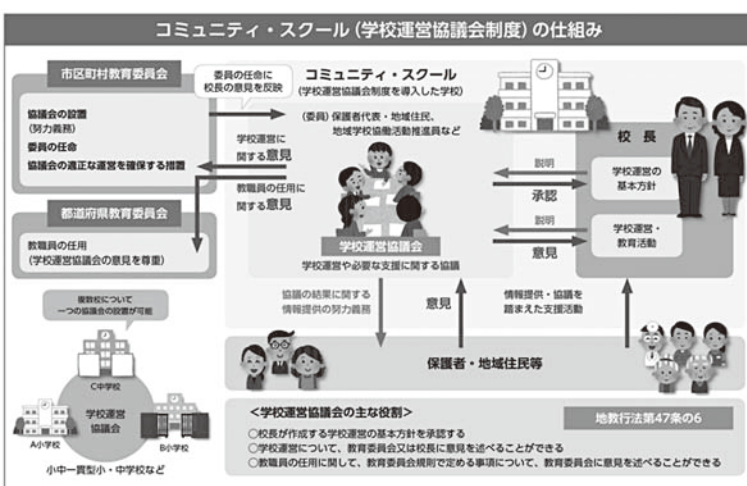
それぞれの学校で「目指す
子供像」は作られている。
委員は学校運営が教育目標
に適切に向かっているか熟議
し、学校運営方針を承認する。
委員が子供たちの実態をき
ちんと捉えていて、学校運営
に対する課題を解決するため
に熟議が行われて、学校の考
えている目指す子供像が変更
になる可能性はあると思うが、
目指す子供像を共有化し理解
すれば、大きく変わることは
ない。

○再質問

教職員に対する負担は、ど
のように軽減していくのか。

沓澤教育長

働き方改革の中でよく言わ
れるのは、中学校の部活の時
間である。
国や道で外部指導者に予算
はついているが、和寒町に
回ってくるかはわからない。
人材がいるかも難しい。



教育委員会は、国や道の通
知を尊重するようには言える
が、実際の判断は先生方が学
校の中で決めることだ。
新しいことを始める時には、
古いことは止める。

これは学校経営の中で、管
理職がきちんと考えることだ。
教育委員会は、学校現場に
負担がかからないように、率
先して取り組んでいく。

○再質問

コミュニティ・ス
クールの効果は。

沓澤教育長

コミュニティ・ス
クールの大きな意義は
四者が当事者意識を持
つということだ。
以前は子供の教育は
学校に任せるというこ
ともあったが、今は学
校、家庭、地域、行政
が一体となって子供を
育てていくことに大き
な効果がある。

問 コミュニティ・スクール実施に向けての和寒町の考えは 答 地域の活力を生かした運営計画



窪田裕二議員

問 2期目に向けての選挙公約は 答 芳生苑の改築整備計画・夫婦岩周辺整備計画など

コミュニティ・スクール（CS）実施に向けて今後のような組織・運営・スケジュールで行うのか

奥山町長

これまで、教職員・保護者・住民の方々に対して、設置目的や仕組みなどに関して周知活動を行ってきた。

今後は、これまで取り組んできた学校支援地域本部や学校評議員など既存の仕組みを活かし、学校や地域の実情に応じたCSを設置することとし、平成30年4月から実施に向け準備を進める。

沓澤教育長

年明けには、組織体制の構築や当事者意識、役割分担、目標ビジョンを共有した協働活動を目指すことから、学校評議員制度の発展的解消を行い、学校運営協議会規則など必要な規定の整備を行う。

また、委員は15名程選定し教育委員会にて任命する考えである。

○再質問

今までも町民が子ども向けコミュニティ活動など行ってきたいるが今後どう活かすのか。

また、活動資金は。

沓澤教育長

今までも、小中学校授業でも収穫体験・カヌー体験などは行ってきたおり、その方々にも構成メンバーとして入っていただくよう考えている。

資金については、事業計画を立て必要な資金であれば予算組みを行う。



▲北のきらきらキッズプロジェクト（田植え時）

2期目に向けての選挙公約は

奥山町長

この4年間、「安心して暮ら

すことのできるまちづくり」「産業育成による活力あるまちづくり」「ひとが輝くまちづくり」の3つの目標を掲げ高齢者福祉の推進や農業、産業の育成、教育環境の整備に努めており、今後も継続する。

また、これまで「ふるさと和寒町をもっと元気に」をキャッチフレーズに掲げてきたが、2期目は「協働のまち、未来につながる和寒町」を掲げ3つの目標を堅持しながら町民の方々と力を合わせ、和寒町の未来のため全力で問題解決に取り組む所存である。

また公約として、「公営住宅の整備」、「芳生苑の改築整備計画」、「塩狩温泉跡地と夫婦岩周辺環境の整備」のほか、「災害時等の危機管理機能の強化」にも努める。

「保育料や学校給食の負担軽減」については継続する。

一方、今後の社会保障関連予算の増大などを勘案して、「マイホーム応援事業」や「農業経営力支援事業」については時限をもって一区切りとし、今後の情勢を見ながら対応策を検討するべきと考えている。

○再質問

農業振興であるペポ南瓜事業は今後も継続するのか。

また、農業振興はどう考えているのか。

奥山町長

ペポに関しては、これまでもブランド化を目指してきており、今後も継続する。

農業振興に関しては、TPP問題や農業政策がいろいろ変わってきている中、行政が主導的に行うのは難しい。農協などと連携しながら進めていく。

○再質問

今年度も町立病院の赤字が目立つが打開策はあるのか。

奥山町長

赤字が増えた理由の一つとして、夜間救急の看護体制による、バックアップ体制が法律上定められ、人件費増によるものである。

今後、病床数の見直しなどいろいろ考え病院の維持ができるように、各職員一丸となって取り組む必要がある。

佐々木広行議員



問 パークゴルフ場の増設は

答 コースレイアウトの変更で体育協会と協議中

問 平成30年度予算編成とこれからの本町のあり方は

答 骨格予算で編成し課題解決に向けた対応策を検討

パークゴルフ場の増設は

本町のパークゴルフ場は、平成4年教育委員会がグレートボール用具を使ってステイックゴルフ競技を提案した。

その後同年8月には総合運動公園に芝生のコースを整え、講習会や教室を経て10月に第1回町民ステイックゴルフ大会が開催され多数の町民が参加した。

幕別町が発祥地であるパークゴルフが全道的に普及され、平成7年ごろ、本町にも導入された。

平成8年には上川北部夏季大会で競技種目になり、本町も参加した経緯がある。

本町のパークゴルフ協会は、会員相互の交流と親睦を図り健康で明るく楽しい地域社会づくりをめざしている。

本町の人口減少からパークゴルフ競技人口は減少しているが、パーク協会、愛好者からは増設の希望が多数出ている。

また、議員からも再三にわたって一般質問も出されている

が、検討するとの答弁に留まっている。

今後の対応と町長の所信は。

奥山町長

町としては、これまで関係団体等からの要望も踏まえて、コースの維持管理に努めている。

新たなコースを増設するには、用地の確保に加え相当の費用がかかり財源の問題もあり、現在教育委員会において検討している。

香澤教育長

増設要望に対しては、敷地確保が壁となり実現が極めて難しいことから、増設するのではなく、運動公園広場パークゴルフ場内のコースレイアウトを変更し、現在の18ホールに9ホールを増設する案で、要望に沿えないか体育協会と協議を進めている。



平成30年度予算編成と本町のあり方は

本町の人口推移は年々減少の一途であり、これに伴って高齢化率は上昇していることから、財政面での主力である地方交付税の減少などに大きく影響してくる。

早急に対策を講じていく必要があるが、現状認識と平成30年度の予算編成と対応策について町長の所信は。

奥山町長

平成30年度予算編成については、町長選挙を控えていることから、新年度予算については骨格予算で作業は進めている。

人口減少や高齢化、地方交付税の減少など踏まえ本町のあり方については、4年前と比較すると288人減少しており、高齢者の人口では34人減少しているが、高齢化率は上昇している。

国は借金が増える中、自治体の基金残高が増加傾向にあることに対して、地方交付税の削減も検討していることか

ら自治体運営も難しくなる。

人口減少や高齢化などに伴って見込まれる国保税・介護保険料・医療費など社会保障費用の増大に加え、地方交付税の動向と本町の財政状況も十分に考慮しながら、課題解決に向けた対応策を検討していく。

○再質問

町外に出られた方で、老人ホームに入所されている方が26人いるとのことであり、本町でも老人ホームが急務と考えるが。

奥山町長

町外の老人ホームに入所されている方は、それぞれの事情があると考えている。

芳生苑はまだ入所スペースがあることから、町外の老人ホームに入所されている方に案内をして、入所できるような手だてを検討していく。

問 これからの農業施策は

答 今後の情勢を見ながら必要な対策を検討していく



石田利美議員

問 奥山町長が考える観光地づくりは

答 丁寧な説明に心がけて、幅広く意見を聴いていく

農業施策は

奥山町政で、3年間に限って農業経営力支援事業、29年度からは31年度までの予定で特産物生産振興事業が実施され、農家の経費軽減となり多くの農家の力となった。

今後も、農業経営力支援事業の継続はあるのか、また、新たな農業施策を考えているのか。

奥山町長

農業を取り巻く環境は、TPP等による農畜産物の輸入に係る低関税枠の拡大等や、平成30年度からの米の生産調整の見直し、平成31年からスタートする収入保険制度など、国の農業政策が大きく変化してきている。

これまで、私の任期中における施策について、平成27年度から実施した農業経営力支援事業の実績見込みは、認定農業者204戸中111戸、率では54.4パーセントが利用され、補助金交付額で1億を超える事業費となり、本町

の基幹産業である農業経営の安定に一定の効果があった。

また、平成29年度からは特産物生産振興事業の力ボチャ用生分解性マルチ購入の補助を創設したほか、平成29年度の秋小麦から、南宗谷線地区米穀類乾燥調製貯蔵施設で受け入れ開始するなど、本町における農業情勢の変化に応じて柔軟に対応してきた。

時限を設定した事業については、一部を除いて一区切りとし、今後の情勢を見ながら必要な対策を検討していく。

観光地づくりは

これまで、塩狩温泉跡地、夫婦岩周辺を購入し、塩狩温泉跡地については解体したところである。

現在、奥山町長の諮問機関である塩狩峠・夫婦岩周辺整備事業検討委員会で検討されている自然を生かした観光地作りについて、産業教育常任委員会等で説明されているものの、町民に対する説明や理解が不足していると思うが。

奥山町長

道北の玄関口で廃墟と化していた塩狩温泉跡地と夫婦岩のある山林を平成26年度に購入し、平成27年度に旧塩狩温泉の建物を取り壊し、塩狩峠付近の環境の改善が図られ、また夫婦岩の環境整備が可能となった。

平成28年度に塩狩峠、夫婦岩周辺整備事業検討委員会を5回開催し、

12月には検討結果を取りまとめた提案書をいただき、平成29年度は、これを基に事業検討委員会を開催し内容を検討している。

これまでも町政懇談会や総合計画審議会において、意見をいただく場を設け、今後も丁寧な説明に心がけて、幅広く意見を聴いていく。



▲自然を楽しめる南丘森林公園

町民センターの分煙室の
今後は

奥山町長

総合庁舎の喫煙室については、多くの方が利用される公共施設での受動喫煙防止対策の必要性を周知する意味からも27年度から設置していましたが、本年度中に撤去していく。

役場庁舎及び町民センター外での喫煙場所については、再度考えてみたいと思う。

より良いまちづくりを ～平成28年度決算審査特別委員会報告～

平成28年度の一般会計、5特別会計、病院事業会計の決算は、平成29年11月8日～10日の3日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く8名で構成された決算審査特別委員会（下條美恵委員長・窪田裕二副委員長）で慎重に審議されま

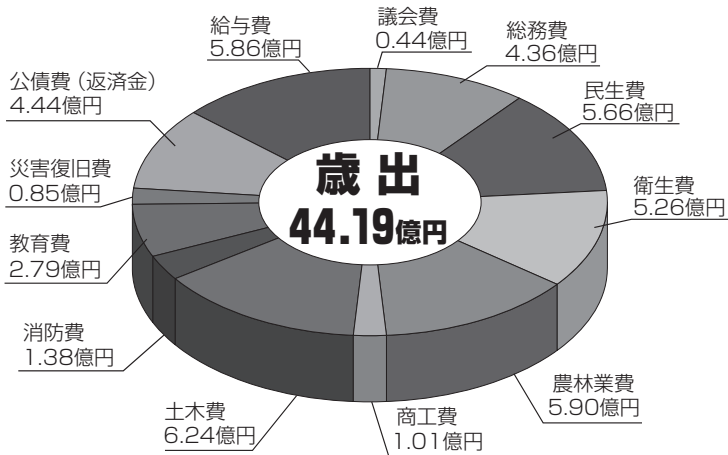
した。
町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

平成28年度 各会計決算状況 ※1万円未満切り捨て表記

会 計 別		予算額	収入額	支出額	差引残額
一 般 会 計		46億5277万円	45億9947万円	44億1879万円	1億8067万円
国民健康保険特別会計		7億4680万円	7億4880万円	6億9784万円	5096万円
簡易水道事業特別会計		4億4064万円	3億5793万円	1億8388万円	1億7405万円
公共下水道事業特別会計		3億5915万円	3億1645万円	3億1245万円	399万円
後期高齢者医療特別会計		5977万円	5967万円	5936万円	31万円
介護保険特別会計	保険事業勘定	5億7156万円	5億6768万円	5億5325万円	1442万円
	介護サービス事業勘定	4459万円	4503万円	4405万円	97万円
合 計		68億7530万円	66億9507万円	62億6966万円	4億2541万円
町立和寒病院事業会計		収益的収入	4億7240万円	収益的支出	4億7021万円
		資本的収入	4624万円	資本的支出	5063万円

一般会計

町民1人当たり
約126万1433円



議 会 費	1万2421円	0.98%
総 務 費	12万4536円	9.87%
民 生 費	16万1599円	12.81%
衛 生 費	15万 194円	11.91%
農 林 業 費	16万8469円	13.36%
商 工 費	2万8930円	2.29%
土 木 費	17万8128円	14.12%
消 防 費	3万9312円	3.12%
教 育 費	7万9669円	6.32%
災害復旧費	2万4243円	1.92%
公 債 費	12万6665円	10.04%
給 与 費	16万7267円	13.26%

決算審査

Q&A

胃カメラを推奨

がん検診委託

Q 受診率は。

A あまり高い状況にな
いが、無料クーポン券
を配付し、引き続き受
診率向上に努めている。

Q 平成28年に75人亡く
なっているが、追跡調
査は。

A 毎年度死因の統計を
とっており、28年は悪
性新生物が最も多かつ
た。

Q 胃がん健診のバリウ
ム検査で見落としが多
いと聞けが、被ばく量
も高く、あまり良くな
いのでは。



A 国においてがん検診
の指針の見直しが行わ
れ、胃カメラを推奨す
ることになった。

町立病院では既に胃
カメラを実施している。
ただ、関係機関の体
制がすぐには整わない
ことから、しばらくの
間はバリウム検査も継
続すること。
高齢の方のバリウム
検査も危険が伴うため
慎重に勧奨する必要が
ある。

公衆無線LAN

Q 整備は終わったのか。

A 12施設29箇所にWi
Fiスポットを整備し
ている。

主な施設については
整備を完了したと考
えている。

Q JR和寒駅にはつい
ていないが、必要では
ないか。

A JRとの協議が必要。
今後、検討していく。

Q フィルタリングされ
ていない。

子どもたちへどう注
意していくのか。

A 中学生のスマホの所
持率は23・1%。

技術の授業で利用方
法を指導している。
注意喚起はしている
が、各家庭や利用者自
らが注意して利用して
いただく必要がある。

防災ラジオ

Q 平成29年度まで全世
帯への普及が目標だが、
現状は。

A 普及率は10月末現在
で80・8%となってい
る。

Q 転勤が多い職業の方
に対して、貸与しては
ないか。

A 現在、生活保護世帯
にのみ貸与している。
転入者には手続きの
際、戸籍の窓口でラジ
オ購入のPRをしてい
るが、他のPR方法も
検討しながら購入して
もらえるようにしたい。

Q 現在、生活保護世帯
にのみ貸与している。

A 転入者には手続きの
際、戸籍の窓口でラジ
オ購入のPRをしてい
るが、他のPR方法も
検討しながら購入して
もらえるようにしたい。

Q サロンが始まり3年
経ったが、評価は。

A 今、5ヶ所でサロン
を開設している。
ボランティアの意見
交換会も一度行った。

なごやかサロン

Q サロンが始まり3年
経ったが、評価は。

A 今、5ヶ所でサロン
を開設している。
ボランティアの意見
交換会も一度行った。

子どもの参加が少な
いことや、サロンへの
移動方法、ボランティ
アの方々をどう増やし
ていくかが課題。

介護従事者等確保推進事業

Q 介護職は給与が同じ
なら住環境の良い方を
選ぶ。

住むところは確保さ
れているのか。

A まずは事業者が住居
を確保していただくの
が第一であり、求人募
集する際のツールとし
て支援している。

Q 住宅は建設課と連携
して対応する必要があ
る。

A 建設事業者や関係機
関とも連携していく。

特殊詐欺の相談は

消費生活行政広域化連絡会議

農村生活体験事業

Q 1市3町の負担割合は。

A 土別市70%、和寒町12.4%、剣淵町11.5%、幌加内町5.5%（事業費807万円）。

Q 相談件数は。

A 和寒町内の方が土別へ相談に行った件数が10件ほど、内容は詐欺の他、食品表示の真偽など。

役場に直接相談もあるが、解決が難しい案件は土別の消費生活相談員に相談する。



Q 応募者が年々減っているが、ターゲットの設定しているのか。

A 各市町村で同様の事業が増えてきており、道内で150名程の募集がある。

インターネットで皆調べている。

今後は、フリーペーパーの広告媒体も活用していく。

Q 現状のままだと変わらない。

条件などを考えていかなければいけない。

農業委員会も新体制になり、意見を聞き取ってもつと枠を広げていく考えは。

A 今後、農業委員会からの提案も参考に募集方法を検討したい。

塩狩峠・夫婦岩整備

Q 検討委員会報償、当初予算から19万円ほど上乗せしたが、30万円残ったわけは。

A 予算時は会議5回分としていたが、交付金がつき、余裕を持って8回分組んだものの、5回の開催となったこと、検討委員8人だが、全員の参加ではなく、不用額が発生した。

塩狩峠記念館

Q 展示品説明文、英語表記はされているが、韓国語や中国語表記をするべきでは。

A 平成30年度、パンフレットと表示版の見直しをする予定。

Q 開館時間、秋口16時半は真つ暗になる。管理人一人で危険と考えるが、開館時間の

見直しが必要では。

A 時間帯の入館者数を調査し、今後、検討する。

少年団校外活動指導員報償

Q 報償費単価の計算根拠は。

A 予算14万円を指導時間で割り返し、98円程度の時間単価で支出している。

Q 年度によって単価が増減することになるが。

A 管内では下川町と和寒町でしか出していない、見直す時期が来ている。

高校生徒通学費等補助

Q 国からの財源はあるのか。

A 普通交付税はないが、過疎対策事業債を活用しており、7割が交付

税で補填される。

Q 国も学費無料化へ向っており、今後、全額補助の考えは。

A 財源の問題もあるが、必要があれば対応を検討する。

外国人登録事務

Q 人数と国籍は。

A 29年度転入してきたのは7人おり、モンゴル、ベトナム、韓国、中国、オーストラリアの方が居住している。転入届出処理の件数などにより、国から事務費が入ってくる。

Q 生活や言葉の違いなど、町として対応することがあると思うが。

A 今後、充分研究していきたい。

高齢者福祉施設指定管理者調査特別委員会

芳生苑・健康苑については、平成20年4月から30年3月まで、社会福祉法人和寒町社会福祉協議会が指定管理者制度により施設の運営をしている。

30年4月以降も指定管理者制度により施設運営を行っていききたいという方針が示されたが、これまで候補者選定方法が非公募だったのに対し、公募に変更したいとのことからこれまでの評価の検証をすべく、平成29年第3回定例会において設置され、計4回開催した。

調査の結果

指定管理者の選定については、公募が原則だが、条例に規定することにより非公募で選出することも可能であり、芳生苑・健康苑は非公募により事業者を選定してきている。

これは、指定管理者

制度導入当時、1割程度給料は下がるが社会福祉協議会に残るのか町職員に戻るかという選択肢を迫った経過があったことも理由の1つと思われる。

今回の公募で社会福祉協議会以外からの申請があったとしても、多くの社協職員の雇用や利用者へのサービスの提供を守らなければならなく、そのためには応募条件に職員の地元採用等の条件を入れることを求め、指定期間を5年間とすることで公募によっても致し方ないものとした。

これらのことから、10月23日から11月30日まで指定管理者を公募したところ和寒町社会福祉協議会のみから申請があり、選定委員会の審査を経て、選定することになったと承したところである。

総務部 災害対策について

昨年、台風の上陸等に伴う大雨により本町も多くの被害を受け、災害に対する危機感が強まっていることから、平成28年9月に所管事務調査とし、委員会の開催及び現地調査を行ってきた。

調査の結果

○地域との連携について

防災士については、全自治会に配置されるよう、今後も資格取得の支援、呼びかけなどを行っていただきたい。

また、自治会単位で防災訓練を実施したのが2自治会となっていることから、今後も防災訓練が実施されるよう自治会と担当課との連携を深めていただきたい。

特に、本町では高齢者、障がい者などの人たちに對して、本人の承諾が無いと個人情報把握するのが困難で

はあるが、支援できる体制の整備を進めることが急務である。

また、防災ラジオの普及に努めていただきたい。

○災害関連事業について

災害用無線の導入、大成地区への気象観測装置の整備、発電機・水中ポンプの3カ月間のリースなどが実施されており、今後必要に応じて実施していただきたい。

○災害協定と防災備蓄品

災害時の応援協定はこれまで11団体・企業と締結しており、今後協定の整備を続けていただきたい。

防災備蓄品は計画的に調達、管理しており、保存期間のあるものは更新するなど適正に管理を行っていた。

～あなたの声をお聞かせください～

議会広報委員会では、議会を傍聴しての感想や議会だよりワットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置しますので、些細なことでもかまいませんので、足を運ばれた際にはご協力をお願いいたします。



産業教育 農業振興補助について

平成27年6月開催の第2回町議会定例会において所管事務調査とし、本町の農業振興について多岐にわたる議論及び所管施設等の現地調査を行ってきた。

調査の結果

○農業経営力支援事業補助

農業者の労働力不足や消費者などのニーズに因應するため、多角化する農業経営に対する支援措置として補助し、農業振興に必要な生産性の向上、省力化やコスト低減等の条件整備を効率的に行うことを目的として、平成27年度から29年度までの3年間を時限として事業が実施された。

率で54.4%と半数以上が利用しており、農業経営の安定と発展に寄与したものと考えられる。

○特産物生産振興補助

南瓜の生育に欠かせないマルチについては、これまで光分解マルチを使用してきたが、28年度をもって生産中止となり、29年度から生分解性マルチに置き換わることににより購入価格が高騰するため、激変緩和措置として光分解マルチとの価格差を平成29年度から3年間補助することとし、29年度予算に610万円が計上された。

農業戸数の減少、農業の担い手不足は農業を基幹産業とする本町にとつて深刻な問題であり、今後も町独自の農業政策を構築していただきたい。

産業教育 教育施設の活用について

閉校後の学校跡地の利活用方法が課題となっていることから、平成27年6月開催の第2回町議会定例会において所管事務調査とし、委員会の開催及び現地調査を行ってきた。

調査の結果

旧中学校跡地については、第2体育館を指定管理者制度による木質バイオマス燃料製造施設とし、校舎の一部を郷土資料保管庫として活用を図っているが、グラウンドについては今後活用方法について検討していくこととしている。

していくことにしている。

旧中和小学校については老朽化が著しく、校舎部分の解体が望ましいと考えられるが、現在利用している町民もいることから、利用者と解体に伴う移転等について早急に話し合いを進めていただきたい。

旧三和小学校跡地については、札幌自由が丘学園三和高等学校校舎として活用している。しかしながら、跡地利用検討委員会などで議論を重ねても活用方法が見出せない施設もあり、施設の老朽化に伴う解体など、年々課題が大きくなってきたことから、今後とも廃校施設の利活用の事例を参考にするなど、行政の積極的な利活用の取り組みを期待する。



産業教育常任委員会が12月6日、和寒中学校に赴き、校長との意見交換のあと、学校給食の試食をしました。

和寒小・中学校の給食については、土別市にある学校給食センターで調理され、毎日配送されます。

Topic
議会

聞かせて

“みんな仲良く
吟声高らかに”

公益社団法人日本詩吟学院
認可 北・北海道岳風会所属
和寒支部(支部長 西村岳佑)
『愛吟会』の初吟会にお邪魔
し、会員のみなさんに、お話
しを聞かせていただきました。

会の歩みは？

昭和33年、岳風会名寄支部和寒吟詠会としてスタートしました。

翌年、和寒支部として分離、道内51支部中17番目の独立でした。

昭和36年からは、各支部持ち回りで、道北吟道大会を開催しています。

平成22年、北海道を9ブロックに分割、旭川以北11支部で北・北海道岳風会を設立しました。

今年9月、北・北海道岳風会設立9周年、土別支部創立65周年記念吟道大会が士別市で開催されます。

詩吟を始めたきっかけは？

母親がやっていたので、自然と始めました。

私は、友人に誘われ、健康に良いかと思い始めました。

現在の会員数は？

15名です。



みなさん雅号をお持ちですが、どのように取得されるのですか？

年2回、春と秋に昇段審査があります。

段位は、初段から始まり、間に初伝・中伝・奥伝という段位があり、8段までは支部で審査します。

その後は総本部に申請して、皆伝・総伝とあります。

詩吟の魅力は？

漢詩の勉強になります。昇段という目標があり、私は無理せずステップアップできればと思っています。

やっていてよかったことは？

お腹に力を入れて大声を出すことでストレス解消になります。

姿勢がよくなったかもボケ防止にもなりますよ。

毎週木・金曜日の午後から町民センターで吟声を見学にきてください。



広報委員の一言

議会広報ワットサム新年号です。改めまして、新年明けましておめでとうございます。

平成も30年が経過し、来年には、天皇陛下の退位と、皇太子殿下の即位の儀式があり新年号となります。

また、今年は冬の平昌オリンピックもありますが、ジュニアオリンピックでは和寒町の子どもの活躍が期待されます。夏にはサッカーワールドカップもあり国を挙げて盛り上がるイベントがたくさんありますね。

ただ、東京オリンピックに向けて、ライバル選手を落としたいというところアスリートのニュースや日本大相撲協会の一連のゴタゴタなど、明るいニュースばかりでもありません。今年一年明るく過ごせるよう目標を持って行きましょう。(勝弘)